

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和 3年 1月 8日号
鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也
Tel 0942-83-2013
<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



ホームページ

3学期がスタートしました



3学期が始まりました。保護者、地域の皆様本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日の始業式では、子供たちに「自分の中で一番になるもの（目標）を決めて、それに向かって

頑張らしましょう。」という話をしました。3学期に登校しなければならない日数は、全部で51日しかありません。6年生はもっと少なく、卒業式まで48日です。2学期の登校日数（83日）に比べると、半分ちょっとしかありません。ですから、一人一人が目標をしっかり持ち、一日一日を大切に過ごし、3月の卒業式や修了式の頃には、どの子も目標を達成して、次の学校や学年に思いを膨らませていることを願い、その姿を思い浮かべながら話しました。始業式後は、さっそく各学級で、今後の目標を考えたり、新しい係を決めたりするなど、3学期スタートにあたっての学級づくりの活動が進められていました。

私たち教職員は、引き続き子供たちの健やかな成長を願いながら指導を続けてまいります。ご家庭におかれましても、お子様本人の意欲付けとなるような励ましの言葉をたくさんかけていただきますようお願いいたします。

あいさつは いつでも・どこでも・だれにでも

始業式の中で、子供たちにもう一つ話したことがありました。それは「あいさつに磨きをかけよう」ということです。子供たちは、挨拶は大切なことで、しなければいけないものだということは知っています。学校でもたくさんの子が元気に挨拶してくれます。しかし、地域の方にお聞きしたり、学校評価アンケートの記述を拝見したりすると「登校班の班長しか挨拶してくれない」とか「地域での挨拶に元気がない」といった声も時々聞こえてきます。どうもそのときの場面や気分などで、挨拶をしたりしなかったりといった状況があるようです。

子供たちには、「あいさつは、いつでも・どこでも・だれにでも」するものだ伝えました。大人も子供も互いに、挨拶をしっかりとした言葉で伝えあい、家族の愛情や地域のつながりがもっともっと深まっていく麓地区であってほしいと願っています。

入賞おめでとう

【わが家のエコ自慢コンテスト2020】

準特選

3年 西澤 孝太郎 さん



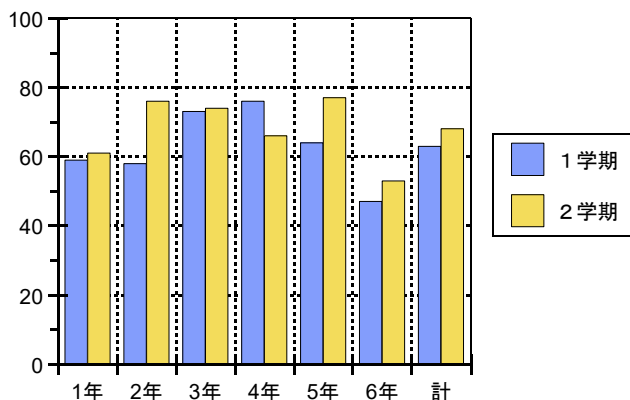
2学期の 家庭学習がんばり週間結果より

ご報告が遅くなりましたが、昨年11月にご協力いただきました「ふもとっ子家庭学習がんばり週間」の結果についてお知らせいたします。

この取り組みは、子供たちの家庭学習の習慣化を図るために学期に1回、1週間の期間を設けて行っているものですが、2学期の結果からは、チェックカードの1週間の合計得点が80点以上の子の割合が、1学期よりも全体的に伸びていることがわかっています。このことから、保護者の皆様のご協力も支えとなり、徐々に、家庭での学習意欲が向上していると考えられ、今後の子供たちの頑張りにも期待しているところです。

3学期の2/5(金)~2/11(木)の期間にも、再度同様の取組を実施する予定ですので、日常のお子様へのお声掛けと共に、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

合計80点以上の児童の割合(%)



やるからできる

子供たちに励ましの言葉をかけるとき、私たちはよく「やればできる」という言葉を使います。しかし、実際に何かをやり遂げることは、努力が必要で、そう簡単ではないこともあります。努力してもできないと思うことがあるのが現実なのかもしれません。

子供たちには、そのことをきちんと説明することも大事ではないかと思えます。そのうえで、継続してやる（努力する）ことは価値があり、すぐに成果は表れなくても、ちゃんと自分の生き方をつくっていくのだということを知らせることが大切だと思います。つまり、「やること」自体が大きな目標になると言えます。「やるからできる」のです。

「やってもできない」と諦める子には、ぜひ「諦めずにやるからできるようになっていくんだよ。」と励ましてあげてください。

